

2007年1月4日

米倉 弘昌 社長 年頭あいさつ要旨

今年4月から始まる新しい中期経営計画では、これまでの基本方針を踏襲しながら、事業のさらなる発展に向けた具体的な構想を盛り込みたいと考えている。

ラービグ計画をスケジュールどおりに完成させ、円滑に商業生産させることは最優先の課題である。また、事業の急速なグローバル化の進展にともない、経営のあらゆる面において、グローバル企業に相応しい体制を確立することが重要だ。海外拠点に対するサポート機能の充実を図るとともに、人事制度、経理制度、内部統制システムなどの整備を積極的に進めていく。社員の皆さんには、活躍の場は世界に開かれ、一人ひとりの仕事は世界につながっていることを心に留め、グローバルに活躍できる能力の開発、向上に引き続き努めて欲しい。

さらなる飛躍のためには、成長の源泉である研究開発力に一段と磨きをかけることが大切だ。関係部署が一体となり、また社外の関係機関との連携も強化し、当社の事業の新たな柱となるものを生み出し、育てて欲しい。

企業が持続的に発展していくためには、社会的責任を果たし、社会から信頼され支持されることが必須である。倫理やルールを遵守する意識が行き届いているかを常に確認し、コンプライアンスを徹底して欲しい。また、海外拠点も含めた当社グループおよび協力会社全体での完全ゼロ災の達成とその継続に向け、業務に当たっていただきたい。

仕事を行う上でチームワークの基礎となるのは、一人ひとりが託された「ミッション」をプロフェッショナルな自覚と責任感を持って成し遂げることである。そして、困難な課題を克服しなんとしてもやり遂げる「パッション」を持ち、迅速果敢に「アクション」をとることが必要だ。強い使命感と、溢れる情熱、旺盛な行動力。「ミッション」、「アクション」、「パッション」を実践し、新しい世界を切り開いていく気概をもって、仕事に取り組んで欲しい。

以上